- 1. 参加者 千賀、山本、黒田、矢古宇、後藤、桧垣、L山崎
- 2. 山域/ルート 安達太良山/沼尻登山口→安達太良山→くろがね小屋(泊) 鉄山→硫黄川右岸→沼尻登山口
- 3. 交通手段 神戸→茨城:スカイマーク、茨城→沼尻:レンタカー
- 4. 行動記録

< 入山日 2022 年 10 月 29 日 下山日 2022 年 10 月 30 日 >

- 第0日 20:30 茨城空港着→レンタカー移動、買い物→22:00 頃前泊宿着 泊
- 第1日 06:30 宿→09:00 沼尻 09:30→13:00 安達太良山 13:25→14:15 くろがね小屋
- 第2日 05:30 くろがね小屋→07:00 鉄山 07:10→足湯→10:15 沼尻 食事、茨城空港へ移動、飛行機を経て帰神
- 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因
- a)予定のルート・日程で行動出来たか?
 - ・見どころが多く、写真や足湯など頻繁に足を止めたため、下山が1時間程度遅れた
- b)事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか? 発生した場合、具体的に記す
- ・ 特になし
- c)パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?
- ・なし
- 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す
- ・沼尻からの周回コースは景観が素晴らしい
- ・朝の稜線付近は霧氷ができ始めていたものの、ツボ足で問題なかった
- ・鉄山から硫黄川までのルートは百名山の割にはあまり整備されていない
- ・硫黄川右岸は破線ルートになっているが、沼尻登山口まで問題なく通行できる

以下参加者感想

【桧垣】

リーダーを初め皆さんのおかげで憶い出深い、楽しい旅でした。大変疲れたけど大変ありがとうございました。ルート、小屋、温泉、氷点下の稜線、紅葉 ♣ 100 点満点以上でした。後藤さんのカイロ助かりました。今度は呑みでお返しします。

【山本】

もともとあまり百名山に疎い私は山崎さんからお話を聞くまでは、正直どこにあるのか、 どんなところかも理解しておらず、とりあえず日程に空きがあるので、ご一緒させてく ださいモードでの参加となりました。 そんな始まりでしたが、どうも気温を見る限り 寒そうなので、防寒は必須で軽アイゼン要となっていたので、チトちゃんとしないといけないかなと思い準備を始めました。

飛行機での到着後の前泊は思いの外良い感じの離れの宴会上等の民宿で早速、いつもの メンバーと初めましての方を含めのアイスブレイク宴会が開始。山小屋で飲むはずの日 本酒はすでに無くなり、ワインもほぼ1本が開いた状態で就寝。

初日は、沼尻登山口から入り、安達太良山からくろがね小屋に行くルート。登山口では いきなり熊出没情報が大きく書かれていますが、今回はちゃんと熊鈴持参です。 登り 始めるとまず白糸の滝が見えてその後、沼ノ平火口が眼前に広がります。なかなか地球 離れした、火星感あふれる表情を見せてくれます。この時点でほぼ 1600mですので、 若干のアップダウンを繰り返し山頂に到着。誰が名づけたのか、別名乳首山(ちちくび やま)に納得し、くろがね小屋を目指します。もともとこちらの小屋が取り壊しがある から企画を上げたと聞いており、楽しみしておりましたが、期待を裏切らないとても良 い源泉かけ流し温泉がある山小屋でした。相変わらずの宴会&夕食と3回の入浴もあり 身体もお腹も癒されました。 最終日はくろがね小屋から鉄山に上がって沼尻登山口戻 る周遊の帰路ルート。朝は風もあり気温も低いので、防寒をしっかりして日の出を眺め たのち、鉄山へ。途中霧氷もありいきなり冬山を感じながら、避難小屋で休憩。その後 クライミングエリアの胎内岩上部を歩きます。終了点があるかいろいろ見ながら歩きま したが、結果的に終了点や支点も見つけることはできませんでした。その後硫黄川で 足湯を愉しみました。いや~チト熱いですが気持ち良かったです。そこからの下山は 隣に温泉パイプを横目に紅葉の大パノラマを眼下に駐車場に到着。初めから終わりまで、 いろんな表情を見せてくれるとても印象深い良い安達太良山でした。

こうして感想を書いていますと、通常こんなに書くこともないなと思い、きつい山に行くこと以外でも楽しむことが出来ると認識した次第です。やはり安達太良山という良い山とご一緒いただいたメンバーに恵まれたことも大きいと思っています。参加の皆さん、楽しい時間を有難うございます。 また計画いただいた山崎さんに感謝です。 個人的には、取り壊しのあと、約3年後には、立て直しされるとのことでしたので、またみんなと訪れて、できればぜひ硫黄川であと1泊でもしてゆったりしたいな思いました。

・TIPS: 関西で飛行機で行く場合には、ガスよりもアルコールストーブが燃料の調達も簡便で今回も小屋で活躍しました。

【黒田】

神戸労山の古参会員の黒田です。今回、福島安達太良山山行 参加させてもらって行けて 非常に良かったです。

東北の山へは県連ハイキング部で行った飯豊山、神戸労山最古参の赤松さんや玉田さんと 行った尾瀬燧ヶ岳、神戸シルバーカレッジで行った会津駒ヶ岳、それぞれ良い思い出があ ります。

今回ご一緒して頂いた 7 人のメンバーのうち 5 人は RC 仲間で岩場のフィールドで諸中会っている様で、1 名の新入会の桧垣さんと黒田は少し離れた感じもありましたが、桧垣さん

とは六甲国際ゴルフで黒田は最近まで25年間メンバー張っていたり、今も月3回は別のゴルフ場でゴルフしていて、歳もやや近く、雰囲気や話も合いましたね。

黒田は今回山行メンバーでは 73 才の高齢者、体重 77 kg小太りで登りは早く歩けない、同行の皆様のやさしさで登りはややゆっくりペースで行って頂き、感謝です。風景は月のクレーターの様な沼ノ平を覗きながら、山頂は地元では乳首山と呼ばれている砂地に少し吐出した岩場の山頂で変化に富んでいる山域でしたね。

今回一つの目的のくろがね小屋の温泉は ph2.5 の強酸性硫黄泉で私は 2 回、メンバーで 3 回は入った方もおられました。

智恵子抄のほんとの空の碑は我々が行かなかった東側の二本松ロープウェイ降場付近薬師 岳にあるそうです。

2 日目はくろがね小屋から少し登って、真っ赤に空が燃えるような日の出を見ることが出来ました。

それからはガスが上がってきて、気温もマイナス 4℃ やや白くなった岩や樹氷の中を登行、 鉄山避難小屋でレーションやテルモスの温かい飲み物を飲み小休止、胎内岩の狭い空間を リュックを外してくぐり、硫黄川の横手まで下って、少し硫黄泉が溜まったところがあり、 手を浸けたり靴下を脱いで足湯をしたりしました。

そこからは中ノ沢温泉への温泉パイプの緩やかな道を下り、出発した沼尻登山口に戻りま した。

【矢古字】

ほんとの空を見に行った---

智恵子抄の安達太良山。

前泊の旅館の離れは快適で前夜?の宴ではお酒も進み。

目的の安達太良山、沼ノ平周辺の地形は火星のような月面のような雰囲気。

周囲の山々も紅葉が広がる。

なかなか姿を現さないくろがね小屋、佇まいは趣があり、だるまストーブ、高い天井の灯 り、ランプも風情がある。

念願の温泉はゆっくり浸かり窓からの風景を堪能、結局3回も。

夕食のカレーはお代わり自由でちと食べすぎ。

部屋での宴会、ロビーでの湯沸しでも話は尽きず。

翌朝、周囲はガスの中、切れ間から朝日が顔を出す。

登るにつれ風が強くなり、雪がちらちら舞い始め、辺りはうっすら真っ白、霧氷、初冬の 光景。

前日に歩いた稜線を眺めながらの稜線歩き。

胎内岩の胎内くぐりで生まれかわり。

沼ノ平の温泉で足湯を満喫。

紅葉の中、名残を惜しみながらの下山。

また、ほんとの空を見に来たい。

後ろ髪を引かれる安達太良山。

PS 29年前に買った文庫本の「智恵子抄」の帯は初々しい深田恭子だった。

【山崎】

テレビで見て知った安達太良山。火星のような月のような大展望に惹かれ、かけ流し温泉のある風情たっぷりなくろがね小屋に惹かれ、いつか行きたい山リストに入れました。が、神戸からは遠いので、数年後とかもしかして数十年後とか?に行けたらいいなぁと思っていた矢先、2023年3月でのくろがね小屋の取り壊しを知り、それまでに行くことを決意。しかしやはり遠いので、一緒に行ってくれる人はいないかもと思いながら会の中で相談・企画を上げましたら、思いのほか集まってくださり、今回の山行が実現しました。

変化に富んだ展望、温泉、紅葉…この山の魅力は、みなさまの感想にある通り。安達太良山の大ファンになりました。本当に行けてよかった!一度行ったらもういいかなと思ってしまう山もたくさんある私ですが、ここはいつかまた戻りたい場所です。

今回、日程、移動、宿、ルート、すべて私の一存で勝手に決めて、気ままにみなさまを 連れまわしてしまった山旅でしたが、山行中も帰ってからも「いい山だね」「楽しい」と口 をそろえて言ってもらえて、そのたびに私の楽しい気持ちもどんどん倍増していきました。 企画者冥利に尽きます!

初めてのリーダーで、頼りなかったり至らなかったりする点も多々あったと思いますが、 みなさまのご協力のおかげでとてもいい経験、とてもいい思い出ができました。ありがと うございました。



前泊宿で宴会



登り始めてすぐ、紅葉と滝



登るにつれ広がる景色にわくわく



圧倒的なスケール感!



かっこいい火口跡



かっこいいごっとん



山頂までもう一息



全員で記念撮影



山の中腹に建つくろがね小屋



かけ流しの天然温泉!



小さくしてお届けします♡



お風呂のあとのかんぱーい!



おかわり自由の名物カレー



日の出前に歩き始めました



朝日を眺めるメンバーと陽に染まる山



お天気が怪しくなってきました



凍てつくナナカマドの実



霧氷が付き始めたハイマツ



雪も降り始め、初冬の雰囲気



2 日目の集合写真



ザックを下して胎内くぐり



奇岩(溶岩)ゾーンもあります



硫黄川まで下りてきました ものものしい



温泉に足をつけたくてさまよう人たち



足湯最高!!



熱めでしたがほんとに気持ちよかった



町まで温泉を引くパイプ



標高を下げると紅葉が!!



目に入るもののほとんどが紅葉です



冷えたおしりをこっそりあたためます



視線の先には紅葉と岸壁と滝



帰りの飛行機からは富士山も見えました

報告者氏名 山崎 綾華 2022 年 11 月 7 日